

Course Map



注目株の西澤 (左)

コマスポ PICK UP!!

◆西澤佳洋(経2)
西武台千葉高出身。53。9月24日に行われた日体大記録会、男子5千メートルでは目標の13分台に大きく近づく自己新記録を達成。今年の出雲駅伝に続き、全日本駅伝でもエントリーに含まれ、今一番期待が高まる選手だ。

エントリーチームリスト

NO.	チーム名	出場回数	昨年順位
1	駒大	19	優勝
2	東洋大	20	2
3	早大	18	3
4	日大	36	4
5	中央大	27	5
6	上武大	2	6
7	札幌学大	21	21
8	東北福祉大	10	24
9	明大	6	8
10	山梨学大	25	—
11	日体大	35	13
12	帝京大	6	11
13	神奈川大	13	—
14	東海大	26	7
15	信州大	11	—
16	新潟大	8	22
17	中京大	33	19
18	名古屋大	15	—
19	立命大	24	14
20	関西学院大	4	15
21	大阪経済大	18	—
22	広島大	10	22
23	第一工大	18	16
24	日本文理大	7	18
25	福岡大	39	20
26	東海学連選抜	オープン	オープン

箱根駅伝予選会

中央学院大学

日本人トップで通過した個人3位のエース藤井や個人8位の室田など上級生を中心に全員が粘りの走りを見せた。予選会を3位で通過し、本選での逆襲を誓う。

日本体育大学

予選会では2位の帝京大に3分18秒の大差をつけ、65年連続出場を果たした。主将の服部や個人5位の本田、好調の矢野が中心となって本戦での上位入賞を狙う。

注目校分析

日本大学

個人トップのベンジャミンの快走で、約2年ぶりの予選通過を果たした。また、日本人エース田村や主将の佐藤といった1万28分台の選手を揃え、総合力で本戦に挑む。

大東文化大学 双子の2年生市田孝・宏兄弟の快走が光り、チームとしては約3年ぶりの箱根駅伝出場を決めた。本戦でもエースへと成長した2人の走りがチーム上位入賞のカギを握る。

中京大記録会

第6回中京大学土曜競技会が10月13日、中京大学梅村陸上競技場で行われた。駒大からは、1万4組に村山謙太(経2)と窪田忍(経3)の2名が出場した。出雲駅伝直後というハードな日程であったが窪田は28分17秒35着でフィニッシュ。村山は28分14秒27と約1年ぶりの自己ベストを更新となった。11月には全日本大学駅伝が控えており、メンバー選考に大きくアピールできる結果となった。(杉浦将貴)